



湖北白鳥学園 松江市立大野笑楽校 学校だより

進みゆく



2024 (R6) 年5月 21日

第15号 (5月)

文責 校長 小松原 弘之



学校HP



“大野小って、〇〇な学校だよ” (1年生を迎える会) “仲間が元気!”

4月24日(水) 新入生3人を招いて2～6年生が1年生をむかえる会を開きました。テーマ「1年生が学校をいいところ、楽しいところと思える会にしよう!」のもと、ほっこりとしたあったかい会になりました。



プログラム

「1年生入場」

- ①「はじめのあいさつ」
- ②「テーマ発表」
- ③「1年生紹介」
- ④「紹介カード渡し」
- ⑤「学年発表」学校クイズ
- ⑥「全校あそび」
(1)新聞じゃんけん
(2)じゃんけん列車
- ⑦「校長先生の話」
- ⑧「おわりのあいさつ」
- ⑨「記念撮影」
- 「1年生退場」



各学年が、この会のために、一生懸命に準備をしました。そんな思いが私にも伝わってきました。3人から、みんなにお礼が届いたようです。(次頁)

全校あそび(1)「新聞じゃんけん」 伝統のじゃんけんボード、今年も登場しました。

全校あそび(2)「じゃんけん列車」 勝負を楽しみながら、一つになりました。さらにたくさん

のひとやってみたく感じました。



学校行事を通して、いろんな力が…！

校報「進みゆく」2頁

<5・6年生のふりかえりから>

「1年生が喜んでくれてうれしかったです。1年生にいろんなことを知ってもらってうれしかったです。」

「ぼくの役割は、司会でした。最初は緊張していたけど、だんだん楽しくなってきました。終わった後、奈美子先生に上手だったよと言われてうれしかったです。また、集会があったら、前より声を大きくしてやりたいです。」

「みんなと協力してできて、うれしかったです。」

「よくなかったところは、自分から考えて動けなかったところです。6年生や先生に言われてから動いていたので、来年には自分で動けるようになりたいと思います。そのためにも、6年生の動きをしっかりと見ておきたいです。来年は、今年のことを思い出して頑張りたいと思いました。これからの行事、5、6年生でがんばりたいと思います。」

「これから気をつけたいと思ったことは、みんなの前でしゃきしゃきとして、はずかしがらずに大きな声で言うことです。」

「来年は、私たちが6年生なので、みんなが喜ぶ企画を考えて、今年の6年生のようにちゃんとした6年生になりたいです。一人一人ががんばっていて、いいなと思いました。」

「あいさつを家で練習して覚えていたのに、みんなの前に立った瞬間、全部忘れてしまって、上手に言えませんでした。悲しかったです。」

「みんなのおかげで1年生を楽しませることができてうれしかったです。」

「よかったことはみんなが進んで動いていいなと思ったし、一人一人がいろいろな仕事をやっていたのが、一番よかったところだなと思いました。」

「みんながこの日まで準備をしてくれたおかげで成功することができました。来年は、今の5年生が中心となってやります。がんばりたいと思います。」

「会自体は、大成功だったのでうれしかったです。」

「反省点としては、見通しをもって行動すればよかったなと思いました。次は、運動会なので、先のことを考えて動けたらいいなと思いました。」



どのふりかえりも素敵です。以下は、昨年と同様のコメントになりました、大野っ子のすごいところです。「できたこともできなかったことも、まずは受け止めているところ、次につながると思います。リード役の体験ができるのが5・6年の醍醐味です。自分で気づいて動けて、問題解決的な動きができているところ、大事に磨きを加えてほしいと思います。」

これからも、よろしく。全校のリーダー、10人の5・6年生！」

もちろん、

「2年生、3年生、4年生も、しっかりと役割を果たしていましたよ！」



“自主・友愛・協力・奉仕・規律”

(5年生宿泊体験学習) “すべてが元気!”



5年生8名が秋鹿小13名と合同で、宿泊体験学習に出かけました。たくさんのことを学んだ2日間で、とっても素敵な体験学習となりました。何よりも、2地区の子どもたちの素直さ、律義さを改めて感じ、湖北の子どもたちのすばらしさを再認識しました。

最初は、遠慮気味の子どもたちでしたが、体験を重ねるごとに親しくなり、集団としての力がレベルアップしていく姿を間近で見ることができました。これも、参加したみんなが本気で取り組んだ成果です。ふりかえりを紹介します。

<全体>「2日間とも、自主・友愛・協力・奉仕・規律のめあてができました。特に、自主・協力・奉仕の3つができました。」「最初は話せなかったけど、だんだんみんなと話せて楽しくなりました。」「秋鹿の人たちは、とても優しく、いっぱいいろんなことを話してくれるから楽しく過ごせました。また、交流会やサバニを秋鹿小のみんなとやりたいです。」「私が見ている限り。秋鹿小の人は優しく声をかけていたし、自主的にゴミ拾いをしていたので、見習っていきたいです。」

<サバニ>「声を合わせると、だんだん速くこげるようになることがわかりました。」「進んだ時は、とても気持ちがよかったです。」「秋鹿の人たちとなかなか話せなかったけど、やっている間に自然と話をして仲よくなったので、うれしかったです。」



<レザークラフト>「自分の好きな模様ができてよかった。友だちが『きれいだね。』『すごいね。』と笑顔で言ってくれて、うれしかったです。」

<オリエンテーリング>「暑かったし歩かないといけないので、とても大変でした。でも、声をかけ合うことを忘れずに、班のみんなに声をかけられたのでよかったです。点数は高くはなかったけど、なによりも協力してできたのでよかったです。」「一番がんばったのは、『協力』です。一班のみんなですべてのポストを探すときに意見を出し合いました。残念ながら、1, 2, 3のポストは見つかりませんでしたが、達成感がありました。」「自分たちで考えたルートで行きました。『ここじゃない?』などみんなが声をかけていていいなと思いました。学校でも協力していきたいです。」



<カブラ>「これは何より協力というキーワードが大事でした。『ナイアガラの滝』ではきれいに全部がくずれていきました。最後の片付けも、協力というキーワードが大切でした。2班が遅れたので、終わった班の人たちが手伝ってくれました。」

最後は、全員で片付けをして、目標時間内に片付けを終えることができました。」



“科学に触れた一日” (1～4. 6年生遠足) “すべてが元気！”

5/15に5年生を除く15名が遠足に出かけました。今年は、一日を通して、科学に触れる内容で行いました。出雲科学館では、思い思いに器具に触れ、体験的な学習をしました。宍道湖自然館では、自然について考えたり、バックヤードの見学をさせていただいたりしました。

存分に楽しみ、好天に恵まれ、学校に戻った時には疲れ気味だったと聞きました。



ゴビウスのバックヤードでは、水槽の裏側やいろいろな機器、魚のえさを見せてもらいました。



5月後半～6月の行事予定

- 21日(火) 全校朝礼
- 22日(水) 芝生管理委員会
- 23日(木) SC来校日(午前)
- 25日(土) 市P連議会
- 29日(水) 運動会
- 30日(木) 運動会予備日①
- 31日(金) 運動会予備日②



<6月>

- 3日(月) 教育相談週間(～6/14)・救急法講習会
- 4日(火) プール掃除
- 5日(水) マラソン大会・児童委員会・芝生作業日
- 11日(火) 全校朝礼・湖北白鳥学園教育推進会議・学園あいさつ運動
- 12日(水) クラブ活動・学園あいさつ運動・マラソン大会予備日
- 14日(金) 合同芸術鑑賞(落語 秋鹿小にて)
- 17日(月) 自転車教室
- 18日(火) 学園小小交流(学園内4年生 大野小にて)
- 19日(水) 児童委員会
- 20日(木) 租税教室(5・6年)・SC面談(全校児童)・尿検査予備日
- 26日(水) クラブ活動

5/29運動会

今年度の運動会は、平日、屋外での開催です。例年、保護者の皆様にもテントの準備片付けなど、一部ボランティアをお願いしております。平日で出にくいこともあるかと思いますが、可能な範囲でお力添えをいただくと喜びます。よろしくお願いいたします。

6/14芸術鑑賞

今年度は、諸般の事情により秋鹿小と合同で行うことになり、当日は午後から全校で出かけます。どんなお話なのでしょう、とても楽しみです。5・6年生は、再会も楽しみです。

6/18小小交流

湖北白鳥学園の小小交流、今年度は大野小学校に学園内の4年生が集まります。大野小からは3・4年生が参加し、リード役を務めます。